



## ゲーム並びにネット依存に陥らないように!!

現代社会では、IT機器が生活の中に広く浸透し、携帯電話やスマートフォン（以下スマホ）は各家庭の生活において欠かせないものとなっています。一方、長時間の使用による心身の健康被害やSNS等によるネット犯罪被害といった、子どもたちに与える影響が大きな問題となっています。

そこで、本校では、明日の授業参観の後に二本松警察署生活安全課から講師をお迎えし、生徒と保護者が一緒に参加する情報モラル教室を開催します。ぜひ情報社会を安全にそして安心して生活することについて、家族ぐるみで考える機会にしてほしいと思います。

この情報モラル教室に先立ち、6月に全生徒を対象にして「携帯電話・スマホ・携帯型ゲーム機等に関するアンケート」を実施いたしました。

その結果、本校において多くの生徒が毎日ネットと接続できる機器を使用していることがわかりました。具体的には、平日にネットに接続している時間が1時間を越える生徒が約65%にのぼり、休日になるとそれが80%以上に増加しています。中でも休日になると「3時間以上4時間未満」は平日の2倍、「4時間以上5時間未満」では平日の7倍以上に増えています。



さらに、ネットの利用目的のアンケート結果からは、利用目的として最も多いものは動画視聴であり、次にゲーム、音楽視聴と続いていることがわかりました。これらは、利用する時間が長時間になりやすいものであり、毎日続けば依存状況に陥る可能性があります。

中学生の1日のリズムを考えると、ネットに長時間接続するためには、学習時間や睡眠時間を減らさなければなりません。このことは、心身ともに成長著しい時期の子どもにも悪影響を及ぼすことは間違いありません。また、SNS等においては、個人情報の流出や不適切な交際といった犯罪に巻き込まれる危険性の増大につながります。

中学生のスマホ等の利用やネットへの接続は、保護者の皆様の管理と監督の下で行わせるものです。アンケートの結果から、スマホやネットの依存傾向は本校でも見られます。お子さまが、依存状態に決して陥ることがないように、ご家族の皆さまでよく話し合い、ルールを定めてそれを守ることに努められますよう、よろしくお願いいたします。



※お断り：松二中だより No.9 のホームページ版は、紙面構成を変更して掲載しております。